

## タイ・バンコク パープルラインへの事業参画について

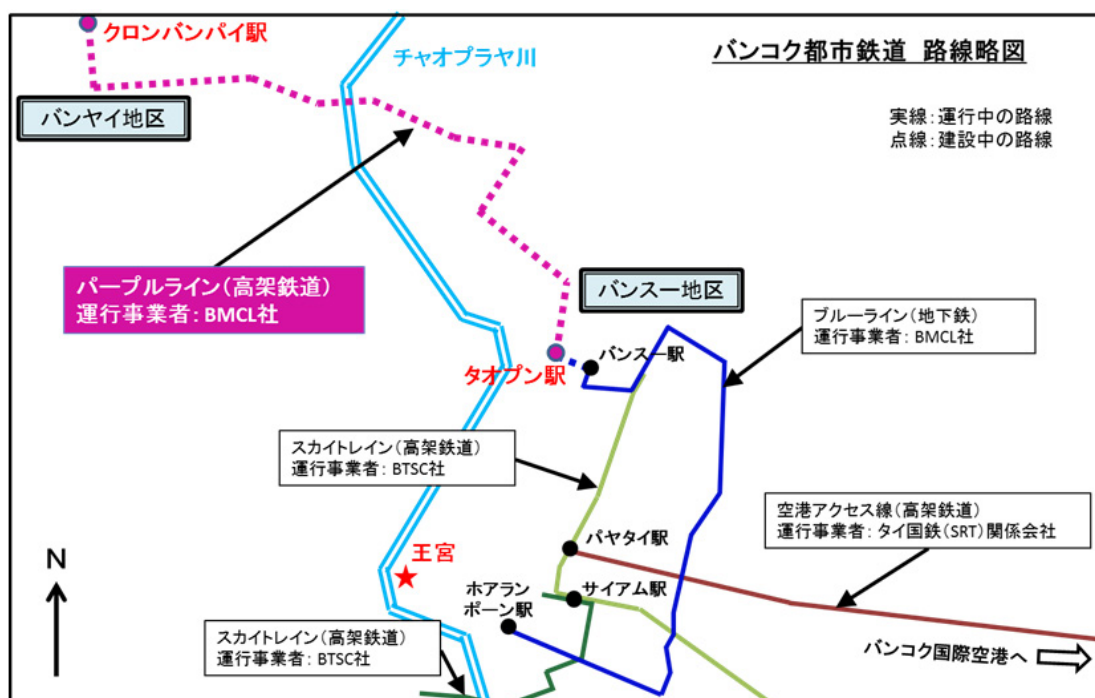
JR東日本グループは、「グループ経営構想 ～限りなき前進～」のもと、国内外の企業と協力し、海外に向けた鉄道車両製造事業を展開するとともに、オペレーション&メンテナンス分野を含めた海外鉄道プロジェクトへの参画を目指しています。

この度、JR東日本は、タイ王国バンコクで建設中の都市鉄道路線であるパープルラインにおいて、丸紅株式会社（以下「丸紅」）、株式会社東芝（以下「東芝」）とともに、鉄道車両や各種地上設備についてトータルでメンテナンスを行う事業に、初めて参画します。また、JR東日本グループの株式会社総合車両製作所（以下「J-TREC」）が鉄道車両を供給します。

本件は、バンコクの都市交通に日本製の鉄道車両が初めて採用され、また日本の鉄道事業者を含めた企業連合が海外での鉄道メンテナンス事業に参画する初めてのケースです。

### 1 パープルライン概要

パープルラインは、タイの首都バンコク北部バンサー地区と北西郊外のバンヤイ地区（約23km・16駅）を結ぶ計画の鉄道路線です。運営主体はタイの鉄道事業者であるバンコクメトロ社（Bangkok Metro Public Company Limited、以下「BMCL社」）で、営業開始は2016年頃の見込です。



## 2 メンテナンス会社について

パープルラインの運営主体であるタイの鉄道事業者B M C L社との契約により、J R東日本は、丸紅、東芝と共同で、鉄道車両や各種地上設備についてトータルで10年間のメンテナンス業務を実施します。実施にあたって、J R東日本は、丸紅、東芝との共同出資により新たなメンテナンス会社をバンコクに設立します。

所在地

タイ王国バンコク都（予定）

設立時期

2013年12月（予定）

主な業務

パープルラインの鉄道車両、信号、軌道、電力、ホームドア、自動運賃収受システム、鉄道車両基地設備等のメンテナンス業務

会社の商号等については、準備作業を進めたいうえ設立までの間に決定します。

## 3 鉄道車両について

丸紅、東芝は、上述の鉄道システム一式の供給契約を、B M C L社から調達の委託を受けたタイの大手建設会社チョーカンチャン社（Ch Karnchang Public Company Ltd.）と締結しており、このうち3両編成のステンレス製車両21編成（63両）をJ - T R E Cが新造し、パープルライン用に供給します。



（イメージ）